

報道発表**浜松市と大学との連携事業～大学生による講座～
「ブラジル風タピオカを食する」の開催について**

浜松市は市内の大学（浜松学院大学、静岡文化芸術大学、常葉大学、静岡大学、聖隷クリストファー大学、浜松医科大学）と連携して、大学生による講座を開催しています。

今回、浜松学院大学現代コミュニケーション学部の学生が、協働センター・ふれあいセンター等での生涯学習講座を行います。

- 1 講座名：ブラジル風タピオカを食する
- 2 日時：令和6年1月27日（土）午前10時～正午
- 3 会場：可美協働センター 2階 料理教室
(浜松市中央区増楽町1723-1)
TEL (053) 440-0007
- 4 内容：日本でタピオカと言えば飲み物に入っている粒が知られていますが、キャッサバ芋から作られ様々な食べ方があるのは知られていません。キャッサバ芋・タピオカについて学び、ブラジルで最近流行っているタピオカスナック（クレピオカ）を一緒に作ることで新たな食文化と触れ合います。
(別添「募集チラシ」参照)
- 5 募集人数：8名
- 6 学生講師：浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 学生
- 7 指導教官：浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 教授 光安アパレシダ光江

※「浜松市と大学との連携事業」

浜松市と大学が連携・協力して、浜松市の生涯学習を一層推進することを目指す事業です。本事業は、協働センター等生涯学習施設で行われている講座の開催に、知の財産といえる大学での専門の学習成果を活用し、学生自らが講師となって市民と互いに自己の学びを深めることを目的としています。浜松市と大学との連携事業は13年目となります。